

東京庄原格致会会報

第21号

2013年9月

 発行人・合田良三
 編集人・寺川勝海
 印刷所・(株) クレスコアース
 コミュニケーションズ

二十四年度

総会報告

好天に恵まれた十月二十一日(日)、今回で三十回となる節目の総会・懇親会が、JR五反田駅前のホテルゆうほうとで盛会に催されました。四十五人の会員と五人の来賓者の出席のもとに定刻十二時から八谷幹事長(三十五年卒)の司会で開始されました。

最初に幹事長から現在の会員数は六三一人との報告がありました。

次いで幹部役員の紹介、来賓の方々の紹介が行われ、庄原市の瀧口市長からの祝電の披露がありました。

その後、二名の会員の訃報に対してご冥福を祈り、黙祷がささげられました。

次に、合田会長(三十三年卒)から会員拡大の重要性和母校の全生徒に「会報二十号」を送り、会の存在をPRしていること、絆の重要性和大切さ、会の各活動への協力をお願いの言葉がありました。

その後、来賓代表として桑原母校同窓会幹事長から母校の近況や同窓会・学校の活動状況を交えた祝辞がありました。

母校は「庄原格致高校教育振興協議会」を立ち上げ、学校・同窓会・PTA

等が地域をあげて取り組んだ結果、今年度は定員確保ができ、県や他校から高い評価を得ているとの嬉しいお話を頂きました。

その後、宮本近畿格致会会長から近畿は実業と交流しながら活動をしており、毎年十月最終日曜日に総会を開催している。本日はプラスバンド部で一緒だった仲間と五十年ぶりに再会して当会の意義を改めて感じたとのことのお言葉を頂きました。

その後の議事では、花田副事務局長(四十年卒)の事業報告・会計報告が行われ、近藤監事(二十八年卒)から適正に処理されているとの監査報告があり、満場一致で承認されました。

第二部の懇親会は総会会場から七階に移動して、福場副幹事長(四十五年卒)の司会で始まり、出席者中の最年長の平田耕司顧問(二十年卒)の乾杯の音頭で賑やかにスタートしました。

今回は三十四年卒グループ八人、三十五年卒グループ六人など同期を誘っての参加が多く、また平成五年卒の瀧口さんの参加など女性の方の参加が十人と華やかでした。

食事も進んだところで、ご来賓の十河世羅高校東京校友会会長と山本東京広島県人会会員拡大委員長からご挨拶を頂きました。

ました。

庄原市の日本酒「比婆美人」や焼酎が入り、お腹も満たされた頃、恒例の郷土のお土産を賞品とした福引が女性の方々の抽選で始まり、地元各地の産品を当てた喜びの声が広がりました。

その後、卒業年度ごとの同級生が集合して近況や自己PRをして会が盛り上がりしました。その後、「あつもりさん」保存会の大岩さん(三十七年卒)から配られた歌詞カードを手に庄原民謡「あつもりさん」の合唱が始まり、次いで「校歌・応援歌」の斉唱の後、室伏顧問(二十五年卒)の発声で中締め、来年の再会を誓って散会になりました。

(事務局)



出席された皆さん



美女勢揃い!



話がはずみます



乾杯の音頭をとる平田さん



35年卒のみなさん



抽選会

出席者名簿

桑原知樹	庄原格致高校同窓会幹事長
宮本光仁	近畿庄原格致会会長
十河研一	世羅高校東京校友会会長
山本芳樹	東京広島県人会会員拡大委員長
小林正治	東京広島県人会会員拡大幹事
平田耕司	昭和二十年卒 (庄原西浦)
山田健太郎	昭和二十三年卒 (峯田)
坂井昌彦	昭和二十四年卒 (庄原本町)
金森裕雄	昭和二十五年卒 (総領)
室伏孝一	昭和二十六年卒 (山内西)
岡田昌人	昭和二十七年卒 (山内西)
田辺良武	昭和二十八年卒 (山内西)
保田治義	昭和二十九年卒 (山内西)
兼利卓哉	昭和三十年卒 (山内西)
惠本弘	昭和三十一年卒 (山内西)
明賀馨	昭和三十三年卒 (山内西)
生田八洲紘	昭和三十四年卒 (山内西)
合田良三	昭和三十五年卒 (山内西)
森沢進	昭和三十六年卒 (山内西)
池田洋子	昭和三十七年卒 (山内西)
角保悦子	昭和三十八年卒 (山内西)
香川邦生	昭和三十九年卒 (山内西)
黒田正宏	昭和四十年卒 (山内西)
迫田芳徳	昭和四十一年卒 (山内西)
近保幸三	昭和四十二年卒 (山内西)
藤原チエミ	昭和四十三年卒 (山内西)
米澤武則	昭和四十四年卒 (山内西)
清水正志	昭和四十五年卒 (山内西)
田淵統洋	昭和四十六年卒 (山内西)
積山弘佳	昭和四十七年卒 (山内西)
光島勝馬	昭和四十八年卒 (山内西)
八谷英樹	昭和四十九年卒 (山内西)
吉岡公義	昭和五十年卒 (山内西)
遠藤靖夫	昭和五十一年卒 (山内西)
大岩征子	昭和五十二年卒 (山内西)
寺川勝海	昭和五十三年卒 (山内西)
小池正之	昭和五十四年卒 (山内西)
清水和子	昭和五十五年卒 (山内西)
山城建治	昭和五十六年卒 (山内西)
田中文男	昭和五十七年卒 (山内西)
花田和教	昭和五十八年卒 (山内西)
迫田秀明	昭和五十九年卒 (山内西)
福岡泰蔵	昭和六十年卒 (山内西)
福岡美知留	昭和六十一年卒 (山内西)
奥重秀彦	昭和六十二年卒 (山内西)
石井美佐子	昭和六十三年卒 (山内西)
武広 巖	昭和六十四年卒 (山内西)
金藤万里子	昭和六十五年卒 (山内西)
瀧口弘美	昭和六十六年卒 (山内西)

氏名の中の()は旧姓

二十五年度
総会・懇親会のご案内

十月二十日(日)

「ホテルゆうぼうと」にて開催

今年度の総会・懇親会を例年通り、十月二十日に開催いたします。

母校の校長先生並びに本部同窓会会長にも案内状を差し上げております。

皆様のご参加をお待ちしております。

一、日時 平成二十五年十月二十日(日)

(受付開始は十一時三十分から)

総会 十二時から三十分程度

懇親会 約二時間

お開きは十五時三十分を予定しております。

二、場所 ホテルゆうぼうと

総会・懇親会は六階(紅梅)・懇親会は七階(末広)です。

所在地

東京都品川区西五反田八丁目四番十二号

電話〇三三四九四一六三三九

三、会費 八千円

(但し、女性並びに同伴の方は六千円です)

※年会費 千円については、当日受付でも承ります。

総会・会場のご案内



ホテルゆうぼうと

品川区西五反田8-4-13

TEL. 03-3494-6339

・東急池上線「大崎広小路駅」徒歩約1分

・都営地下鉄、JR「五反田駅」西口徒歩約5分

・JR「大崎駅」西口徒歩約7分

東京庄原格致会の
発展を期待して東京庄原格致会会長
合田 良三

【略歴】

川北町出身。昭和三十三年母校卒。神奈川大学卒業後(株)みつわ(宝石業界)勤務。

会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、日頃は会の活動について何かとご協力を賜り役員一同厚くお礼申し上げます。

母校への誇りと感謝、郷愁の思いが凝集している同窓会は心をリフレッシュしてくれるオアシスの存在として意義は大きいと思われる。

総会後の懇親会では、青春時代の学友と会い往時を語ればくつろぎと安らぎを覚えそして生きる喜びと希望と活力をくれる不思議な栄養を与えてくれます。

安倍政権の経済政策「アベノミクス」の期待で金融界など敏感に反応し株、為替など乱高下している状況ですが国民全体が景気の回復を実感できるようになればと期待大です。

更に嬉しいことは世界文化遺産に「富士山」が登録されたことです。国内の世界文化遺産としては十三件目、自然遺産を含めると十七件となります。

登山者増対策や登山道周辺の保全方法などについて対策が急がれるなど課題も沢山ありますが、日本人が海外の遺産巡りをするように海外からも多くの観光客が来日し「富士山」の素晴らしい景観を

楽しんでもらいたいです。

過日、小生は「六つの世界遺産とサハラ砂漠の朝日観賞」というモロッコのツアーに参加し、その景観を楽しむと共に遺産の保存状況を見てきました。

アフリカ大陸の北西端に位置しチュニジアやアルジェリアと共に「マグレブ地方(日の沈む地方)」と呼ばれるモロッコは「日の出づる国」日本に住む私たちにとって遠く、そして魅惑に満ちた国と言えます。

日本人になじみの少ないイスラムという宗教、赤茶けた不毛の砂漠、そういったイメージがモロッコの印象として確立されていましたが、訪れてみると実際は緑豊かな農村風景もあり驚かされました。モロッコの玄関口で最大の都市カサブランカより観光の始まりでした。

世界遺産に指定されているマラケシュ旧市街、その内のシャマ、エル、フナ広場は、昔は公開処刑場だったと言われていましたが今は屋台、猿回しや蛇使いなどの大道芸人が集まる一大アミューズメントパークとなっていました。

五日目、早朝暗いうちにホテルを出てサハラ砂漠に到着、その後ラクダに乗り朝日観賞スポットで日の出を待ち、戻りはラクダに乗った自分たちの姿を朝日が砂漠にくっきりと写しだしてくれて感激でした。

六日目、フェズの旧市街メディナでは世界で一番大きな迷路といわれる周囲十キロ以上といわれる旧市街を散策、中世の暮らしがそのまま残されている感じで、車は内部には入ることができずロバが貴重な輸送手段となっていました。また、ベールをかぶった女性も多く一歩外

に出てまた引き込まれそうな魅力が詰まっています。

世界遺産の観光は機中泊を含め九日間の旅でしたが、どの地も遺産の環境保全には苦慮しており、人里離れた遺産の神殿や遺跡の復興は長期に及び維持管理費はかなりの額になり、財政的にも大変だろうと思われました。

日本では富士山御殿場口新五合目で、市民や地元企業関係者で清掃活動が行われましたが、全国の世界遺産に対してもこの様な活動の輪が広がる事を願っています。国内外を問わず沢山の旅を経験して多くの人と知りあいになる、人間は結局旅から得たものが多いほど幸せなんだと私はこう思います。

人生には終わりがありますが、東京庄原格致会は終わりが無いと考えております。

しかし、この会の維持、発展のためには課題が多くあります。まず会員の減少です、少子化の影響で卒業生の進学、就職が広島県内、関西地区にとどまり関東地区に生活の場を求める新卒者が少ないのもその一因です。この現状打破には会員からの情報提供が最も有効な手段なのです。新卒者にかかわらず新規会員の関東地区への転入情報をつかまれましたら事務局にお知らせください。

総会並びに各同好会への参加者が増えない、事務局が参加者集めに苦労している現状打破も課題の一つです。

総会、親睦会は、百名の参加者を目標に努力しておりますが、なかなか難しい状況です。

会員の皆様の積極的な参加に期待大ですが、何か良いアイデアがあれば提供く

ださい。ひとつの方法として、新規同好会を立ち上げてはと考えております。

会の活動をご理解いただけるよう「東京庄原格致会」のホームページを開設しております。ぜひご覧いただき意見、投稿をお願い致します。

役員、幹事は課題について何とか良い方向に向かうよう今後とも努力を続けますが、同窓生の皆様の一層のご支援ご協力が必要です。よろしくお願い致します。

「世界へ羽ばたく格致高校」



広島県立

庄原格致高等学校校長

三宅 康生

【略歴】

昭和二十九年三次市生まれ。初任校広島県立賀茂高校、白木高校に勤務後、県立高校を退職。広島市立基町高校勤務。その後、三次高校の定時制教頭（二年）、日彰館高校教頭（三年）、校長（五年）を経て、一昨年度庄原格致高校へ赴任。

広島県教育委員会が打ち出している高等学校再編計画の最終年度になりました。高校間連携（小規模校間連携）を行い、今年で三年目を迎えます。庄原格致高校も東城高校・西城紫水高校との連携を行い、教育環境を高め合う取組みを行ってきました。庄原格致高校の県北での存在意義を問われる年となります。二年前から、同窓会とPTAによる庄原格致教育振興協議会を立ち上げていただき、本校の取組みにご支援を賜り深く感謝申し上げます。

県北の子どもの数が少なく、二年前まで毎年入試において庄原格致も定員を下回る志願者数（現三年生は定員百二十名に対し、九十九名の入学者）で在りましたが、この二年間は定員を上回る志願者を集めています。本校教育の柱の一つに掲げていますが、格致高校といえば「英語力をつける学校」「コミュニケーション能力を高める学校」として県北の保護者・中学校職員に浸透してきています。

平成二十五年度の中学卒業生数は昨年度より六十人少なくなります。平成二十六年の入試に於いても志願者数が定員を超えるように努力してまいります。庄原市・三次市から多くの中学生が受験してくれる、選んでくれる学校となる努力をしていきます。今年度も、次の取組みを強化します。

① 高校1年生の学力の定着を図ります。広島県から本年度もチャレンジハイスクールに選ばれています。受験に向け、まず基礎基本を定着させることが大切です。この定着を図る取組みとして、「学びの共同体」という授業形態を取り入れ生徒が主体となる授業の展開を行います。この授業形式により思考力・探求力・応用力が付き、三年時受験に向けて確実な力がつくことと確信しています。

② グローバル社会に対応できる学力をつけます。これからの社会においては、言語活動力をつける必要があります。平成二十四年度は英検準2級・2級を取得した生徒は百五十一名でした。全校生徒の半数が取得したことになります。本校は平成二十五年三月にマレーシアのクアラ・セランゴール理数中高等学校と姉妹

校を結びました。この学校はマレーシアでもトップクラスのエリート校です。今年度二年生は秋の修学旅行でシンガポール・マレーシアの2カ国に行きます。世界に羽ばたく格致生として国際感覚を身に付けて卒業して欲しいと願っています。

③ 三次市内中学生に対し、格致高校の宣伝をさらに強化を図ります。（イベントなど）

④ 更なるクラブ活動の活性化を図り、生徒と教師がともに切磋琢磨する学校を目指します。クラブ活動においては、文化部・体育部において小さい学校ではあ



庄原格致高等学校

ります。全国大会・中国大会に出場するクラブがあります。

平成二十四年度、吹奏楽部は小編成部門において6年ぶりに県大会金賞を受賞、写真部は5年ぶりに全国写真甲子園に出場しました。「格致高校を選びたい」「来てよかった」「自分の夢をかなえることができる」このような学校を目指し、教職員一同頑張りますので同窓生の方々の温かい御指導・御支援を今後ともよろしくお願いします。

「近況報告」

同窓会会長

片山孝昭



【略歴】

昭和三十三年卒。庄原中学PTA会長。四二歳、六五歳まで、六期二三年間庄原市議会議員。議長、副議長、各常任委員会委員長。現在、庄原市地域審議会会長。事業評価委員会委員長。庄原自治振興区連協副会長。

東京庄原格致会の皆様には、ご健勝にてお越しのことと拝察致します。昨年十一月の総会には、引き続き合田会長にご臨席いただき誠にありがとうございました。

当日は昭和三十八年卒の幹事団外各学年幹事団の頑張りで、百六十数名の出席のもとで盛大に開催することができました。

総会では、二年に一度の役員改選の年でありましたので、同窓会の将来を考慮した役員人事案を上程し、全員一致で承認して頂きました。ご承知のように、少子化が一段と進む中で、庄原市では普通

科三校、職業科程一校の四校があります。一方市内の中学校の卒業生の推移は、平成二十五年の三百二十名をピークに平成二十六年からは二百九十名から三百名で推移していきます。

年々市外への高校進学志向が強くなり格致高校も定員確保に向けて更なる努力が必要であります。幸い二十五年度も百二十名の定員を確保することが出来ましたが、東城高校・西城紫水高校共に大幅な定員割れでありました。

そして、庄原実業高校も、県下全域からの募集にもかかわらず全体的には定員割れの状態が続いております。

このような中で、県教育委員会から中山間地域の高校統廃合の動きも出てくると思われましますので、これから庄原格致高校としての特色を情報発信をしつかりして、庄原市以外の中学校からも志願者が増えるような努力が必要であると思えます。

次に庄原市の現状について少し述べてみたいと思います。庄原市を中心とした一市六町の合併から今年で九年目を迎えました。

新市となつてから二回目の市長・市議会の選挙の年でもありました。

その結果、市長も滝口市長から木山新市長へ引き継がれ、議会も定数五名減の二十名の定員となり、二十名の新市議も決まり、新体制での行政運営がスタートしました。

合併当初は人口も四万五千人でありましたが、年々減少し現在では約三万九千人前後まで減少し今後も一段と減少傾向が強くなつていくものと思われまします。

去る五月二十八日には、庄原格致高校

教育振興協議会の役員全員で、木山新市長を表敬訪問し同時に要望活動も致しました。

内容については、振興協議会を通して毎年向う三年間六十万円の支援に対するお礼と、年々厳しさを増す学校の状況を説明し、さらなる支援の継続を要請した次第です。

木山市長は東城町出身の方で、県議会に三期十二年間在籍された経歴もあり、高校の教育にも非常に強い関心を持っておられました。

我々の要望にも出来る限りの支援も約束していただきました事を報告しておきます。

次に去る六月二日、広島庄原格致同窓会総会が広島市で開催され、世良会長をはじめ、六十数名の出席のもと盛大な会となり、大変盛り上がりしました。庄原から私と宮本英暉副会長が出席し今後の活動等について意見交換をする機会を得ることが出来ました。

参加者には特に若い方が多く、この事について世良会長から説明があり、役員個々が大変努力された結果であることを聞き、大変力強く感じた次第です。

同窓会本部も、今後とも努力してまいる所存でございますので、宜しくお願い致します。

終わりになりますが、東京庄原格致会の皆様のご健勝を祈念申し上げまして、ご報告と致します。

会員だより

ボストンへの想い

二六六年卒

田中 茂樹

【略歴】

庄原市高門町出身。昭和二六年母校卒業後日本文学入学。同年四月ボストン・マラソン優勝。卒業後銀座松屋・池袋西部百貨店に勤務。現在全国マラソン連盟会長。東京走友会副会長。東京ハリヤークラブ代表。



今年の4月15日14時45分頃（現地時間）に発生した爆弾テロ事件、このボストンでは第117回ボストンマラソンが開催され、国内外から多くのランナーや観客が集まっていた。そのレース中、ゴール付近のコブリー広場で2度爆発が発生、その際に3人が死亡、282人が負傷したと報じられた。

思い起こせば62年前、日大入学後の昭和26年第55回大会ボストンマラソンに日本人として初参加、ゴール直前の心臓破りの丘を無我夢中で一気に駆け抜けた地点での出来事。ニュースを聞いた時、人一倍の憤りを感じられずにはいられませんでした。

ボストンマラソンは毎年4月にアメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストンで



ボストン・マラソンで優勝ゴール

開催されるマラソン大会。1897年に開催され、近代オリンピックに次いで歴史の古いスポーツ大会です。アメリカ独立戦争が開戦した4月19日を「愛国者の日」として、それを記念して第一回が開催されました。

私は、中国山地の農村・比婆郡敷信村高門（現・庄原市高門町）で生まれ、14歳の時国民学校での朝礼中、約100km離れた広島市に投下された原爆の閃光を見ました。まもなく大やけどを負った被爆者が私の村にも沢山運び込まれ、「アメリカは人殺しの国だ」と憎悪を募らせていました。

毎日学校までの4キロの砂利道を走って通ったことがランナーの原点となりました。広島県比婆西高等学校（現・広島県庄原実業高等学校）在学中の1949年から中国駅伝で三年連続区間賞を獲得、その後母校の藤田先生の出身校である日本大学に進学。箱根駅伝や各地のロードレースに出場し、1951年海外派遣選手の予選会になった山口の大会で2時間28分16秒の戦後の世界最高記録をマーク、19歳で日本が初参加したボストンマラソン代表の一人となりました。日本は戦後初のロンドンオリンピック

には出場を許されず、世界的規模の大会に出るのはボストンマラソンが初めてで、日本に対する関心は薄かった。マラソンチーム監督の岡部平太氏は「民族の誇りを復活させるには、アメリカで国民的行事であるボストンマラソンを制するのが一番」と考えました。

自己負担の参加費用という壁に立ちふさがるも、「アメリカに負けるんじゃないぞ」と広島や地元の人達が後押しをし、資金を集めて頂いて、私はボストンへと旅立つ事が出来ました。

郷土の人々の思いを一身に背負って必死に走った結果、2時間27分45秒で優勝しました。広島県出身の為「アトムボーイ（原爆少年）優勝」と報道され喝采を浴びました。敗戦のうちひしがれた日本が、世界に花を咲かせた瞬間だったと自負しております。

アメリカの新聞も「ひろしまの原爆生存者が勝利」と讃えてくれました。この時代のマラソン選手は指股のある足袋を履いて走っていました。私もオニツカタイガー製の地下足袋型マラソンシューズで走りました。ゴール直後外国人記者達が血相変えて「早く靴を脱げ」と私に迫りました。理由も分らず靴を脱ぐと、記者達は安堵の表情をしました。アメリカは「日本人の足の指は豚のように2本しかないのでは」、「被爆して指が2本になったのか」と疑っていたようです。

戦後の日本陸上界の空白を一気に埋めた優勝で、日本人として戦後の国際舞台での初めての優勝であった為、敗戦に打ちひしがれていた日本国民を大いに勇気づけたようです。帰国後広島駅で見つかり、無理やり木炭トラックに乗せられ故

郷の庄原市（敷信村）まで凱旋パレードとなりました。沿道には小旗を振る人達が溢れ、連日の歓迎会は嬉しさと地獄でした。戦後の少年時代故郷庄原での多くの人達に出会い育てて戴いたおかげで成し遂げられたと、常に感謝しております。

定年後からの山登り

三十八年度卒

塚原 通彦

【略歴】



総領町出身
昭和三十八年広島証券（現東洋証券）入社
昭和四十八年大阪屋証券（現岩井コスモ証券）入社

庄原市総領町（2005年3月31日市町村合併でそれまでは甲奴郡総領町）出身の塚原です。昭和38年に普通科を卒業し証券会社に入社し60歳の定年まで無事働くことが出来ました。田舎の私が戦後日本経済の復興期に証券会社に身を置き政治や経済を少しは勉強し世の中の動きに関心を持つようになり、生活する事ができた事は本当に幸せであつたと思っております。定年後は生まれ故郷の総領へ帰るつもりで居たのですが、子供たちが東京で働くことになり結局現在は千葉県の上井市と言う所に住居を構えています。

仕事人間をリタイア後は緊張の糸が切れたように何もする気が起こらなくしばらく家でブラブラしていたのですが、このままでは体力の衰えを待たばか周りに迷惑を掛けると思い、何か健康の為に身体を動かそうと近くの山の会に入会

して山登りを始める事にしました。最初は軽く考えて登った山でも登った後は1週間程度は筋肉痛がひどく、足腰の弱さでも何十回と登っている人は翌日からでも筋肉痛はないと言われ、自分もそのように成りたいと思ひ、今は月に2〜3回のペースで登っています。

山は四季折々にいろんな姿を見せ登る人の心を和ませてくれ楽しませてくれます。高山（2〜3000m級の山）・低山ともそれぞれの変化があり、山に登らなければ見る事の出来ない景色を見る事が出来、自然の素晴らしさをいろいろ教えてくれます。

山に登るまでは高山植物には興味も関心も無かったのですが、山に行かなければ見る事の出来ない高山の花などにも出会えました。最初に覚えたのは「チングルマ」で白馬大池の周りに咲いていた大群落は見事でした。又風雨に耐え岩礫にへばり付くように咲いていた高山植物の



奥穂高岳(3,190m)の山頂にて

女王「コマクサ」には感動させられました。ブナ林の中を風の音を聞きながら歩き、森林限界近くのハイマツの樹海を息を切らして登り、ガレ場や岩場に足を取られそうになりやっと頂上に到達します。

山に登るときは下界のいろんな雑騒から離れ無心になれる事です。目の前の困難で苦しい事にチャレンジし登頂したときの達成感は何物にも代えがたい喜びです。よく人生は「山あり谷あり」と言いますが、まさに山登りは人生に似ています。苦勞して登って行くとだんだんと視界が開け、頂上では絶景を観る事が出来ますが、天気の良い日には何も見えません。しかし頑張った達成感があります。又、山頂で食べるおむすびと一杯のコーヒの美味しいこと至福の一時です。山の上にある露天風呂に入り疲れを癒すのもいい思い出になります。

山の会に入会し5年がたち現在約130座ぐらい登りましたが、やはり記憶に残る山は高山で登るまでに苦勞した厳しい山が多いです。でもその分眺望は素晴らしいです。奥穂高の頂上からの絶景、蝶ヶ岳から見た槍と穂高連峰、白馬岳の大雪山、絵に描いた様な風景が目の前に広がりが感動の一言です。またそのような山に挑戦し困難を克服した時の達成感は何物にも代えがたいものがあります。

来年は古希を迎える歳になります。健康維持にと登り始めた山登りであと何年登ることが出来るか解りませんが、気持ちには何時までも青春のままでこれからも挑戦する気持ちを持ち気力と体力に相談しながら山行したいと思っています。

北海道の思い出

四八年卒

武広 巖



【略歴】
出身地 庄原市宮内町
広島大学(工部)卒
人事院(広島、東京(3年間外務省、福岡、札幌勤務)

昭和48年に庄原を出て40年が経ちました。広島市で就職し、36歳で東京勤務となり、その後、福岡と札幌で各2年間の単身生活を送り、定年まであと2年を切りました。(外務省に3年間出向しましたが、同じ課に平成5年卒の瀧口弘美さん(平成24年総会出席)が在籍しておられました。世間は狭いですね。)

これも世間は狭いと思いましたが、昨年、自宅近くの居酒屋で広島県人会会員拡大幹事の小林さんと知り合い、東京庄原格致会総会の開催を知り参加させてもらいました。素晴らしい先輩との楽しい時間を過ごすことができ、どうしてももう少し早く参加しなかったのかと悔やんでいます。(若い皆さん友達を誘って参加しましょう。)

今回、新会員は何か書くようにとの優しい先輩からの依頼(指示)があり、平成19年4月から2年間単身で過ごした新婚旅行の地でもある北海道の思い出を書くことにしました。

北海道の春夏秋冬…札幌に赴任した4月は、宿舎に雪山が点在し、水道水

は手が痺れるほど冷たいものでしたが、5月に入ると春を待ちわびた花が一齐に咲き誇ります。(ライラックとハマナスは、我が家で元気に育っており、北海道を思い出させてくれます。)

瞬く間に短い夏は過ぎ去り、宿舎近くの川での鮭の産卵に、その時札幌に来ていた妻はえらく感激していました。大雪山系が日本一早い紅葉に包まれ、札幌の街路樹のナナカマドの赤い実が落ちる頃、人々は、タイヤとワイパーを冬用に切り替え、灯油を買い込んで長い冬に備えることになります。常に気温が低いため雪は溶けず歩道は雪が降る度に高くなっていきます。(滑って接骨院の世話にもなりました。飲んだ後のことで誰にも文句は言えませんが。)北海道では室内をガンガン暖房し、Tシャツ一枚でアイスクリームを食べているようですが、



最北限の地スコトン岬にて

私の暖房器具は、小さなファンヒーターと炬燵のみで、面倒なので冬も主にシャワーで過ごしました。同僚から「修行しているのか?」と聞かれ、「私の故郷よりちよつと寒いくらいで、どうってことはない。」と返しましたが、2年間だから我慢できたのかも知れません。

乗り物…地下鉄には「優先席」ではなく「専用席」があり、いくら混んでいても若い人は座りません。また、網棚がないのですが横のポールはあるため、私は習慣で鞆を置こうとして落とした経験があります。JR北海道の列車は煙を吐いていなくても「汽車」といい、「電車」とは路面電車のことです。

言葉…「今朝、ゴミを投げてから出勤した。」と職員が言っている。「ダメじゃないの、ゴミを投げたしたら」と思ったら、ゴミを捨てる意味とのこと。同じ言葉でも場所により意味が違うことがあり注意が必要です。(手袋を「はく」といいます。)

余暇…土日は、主に卓球と日帰り登山で楽しみました。卓球は2チームに所属し、友人も沢山できて北海道での一番の思い出です。

現在…今はさいたま市で、妻、娘夫婦、1歳半の孫と同居しています。卓球は継続しており、ゴルフも再開しました。東京庄原格致会の皆さん、旅行会やゴルフにも参加したいと思っていますのでどうぞよろしくお願いします。

頑張っています

【会員の活動取材報告】 八谷達憲画伯の個展を鑑賞して

八谷義登先輩（二十年卒）が個展を開催されるとの連絡をいただいたので、ワイシャツ一枚で充分というほどに暑くなった5月10日の午後のひと時、銀座四丁目の朝日画廊を訪れた。この秋で85歳を迎えられるという画伯に案内いただいて風景画33点・静物画3点の作品を見せていただきました。



作品をバックに八谷さん

13年ぶりの個展というお話でしたが、絵に疎い私にとっては油絵とは思えない水彩画とすら感じさせられるきれいな筆運びの作品には驚きました。風景画に四季を通じて澄んだ空気が感じられるのは一回一回丁寧に筆を洗い、色が濁らないように気を付けているとお話を感心しながら伺いました。

作品の風景画は北海道から沖縄まで各地の自然が美しく描かれていました。20号の「郡上八幡城」・「甲斐駒の朝」や「新緑の安曇野」（8号）などなど、特に安曇野の自然を描いた作品が多かったかと思いました。

先輩の益々の御活躍を、また、早い機会に次の作品を見せていただけるようお願いしながら帰途につきました。

（文章・八谷、写真・花田）

母校だより

邦楽部、マレーシアへ行く

邦楽部顧問

林 和子

東京庄原格致会の皆様、こんにちは。邦楽部は、「箏曲がひけるようになり、パートに別れて合奏することができ。」ことを目標に箏の講師の竹原先生の指導を受け、部活動をしています。

平成二十四年度、庄原格致高校は、グローバル社会で活躍でき通用する生徒を育成することを目標に、マレーシアのク

アラセランゴール理数中高等学校と姉妹校提携を結ぶことになり、3月27日の調印式で邦楽部は箏の演奏をすることになりました。あわせて、広島県がクアランプールのイオンマレーシアで開催する「広島フェア・in マレーシア」で箏の演奏を行うことも決まりました。

マレーシアへは、箏の先生、引率の2名、一年生5名で、広島県の海外ビジネス課の職員とともに向かいました。一足先に出發した校長先生と担当の先生とは、クアラセランゴール理数中高等学校で合流し、調印式に臨みました。

クアラセランゴール理数中高等学校では、男子生徒のタイコの音楽と女子生徒の花で出迎えてくださり、行列を作っていました。日本を出發して長い道のりでしたが、温かく迎えてくださり感動しました。校内には、ブーゲンビリアの花、南国の鳥の鳴き声等、日本とは異なる景色に南国を感じました。

私達はまず、校内を見学してまわりました。この学校では、日本語、アラビア語、ドイツ語の三科目を開講していて、それぞれの部屋があり、その国らしい物が飾られていました。

日本の部屋には、日本の写真、生徒の書道作品、ハッピなどの品物がありました。

その後、体育館で調印式、校長先生の英語でのスピーチ、格致高校の紹介（格致高校の雪景色に驚いた様子でした。）、ガムランの演奏などがあり、その中で箏の演奏を行いました。

初めてのマレーシア、初めての海外での演奏でプレッシャーはありましたが、

洋光繊維株式会社

代表取締役

木村 貞 寧

（昭和25年卒）

〒130-0004 東京都墨田区本所4-9-10
電話 (03) 3623-3176

体がよろこぶ!

「効く」漢方の正体

薬剤師 恵木 弘著 (株)東洋薬行社長

定価 1050 円 (税込)

東京庄原
格致会会員が
上梓しました

例えばカゼに効く葛根湯、10社以上から同名の商品が出ているが、品質は千差万別。当然、効果もまちまち。漢方生薬の品質を40年以上研究してきた筆者が、今まで誰も語らなかった、知らないと損をする「効く」薬の選び方を指南する。

お求めはアマゾン(www.amazon.co.jp)かお近くの書店まで



上手に演奏できました

練習したことを思い出して、一生懸命箏をひき、息のあった演奏をすることができました。

次の日から三日間は広島フェア・イン・マレーシア（広島県物産展）で箏の演奏・子ども箏教室・折り紙・絵手紙体験など日本の文化を紹介するワークショップに参加しました。物産展では、柑橘類（レモン・デコポン・はるか）を売るお手伝いもしました。

マレーシアの方が箏の演奏に興味を持って聞いてくださり、また折り紙や絵手紙体験では、家族づれの方を中心に交流することができました。日本文化に興味を持っている方、日本語を勉強していますと日本語で話しかけてくる方もありました。

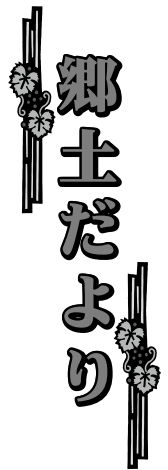
今回の交流の際、マレーシアの人たち



宮廷前全員で

は、本当に温かく私たちを迎えてくださいました。また、海外の文化に触れたことで、日本の伝統文化を大切にしていくな必要を感じました。さらに、英語ができれば、もっと交流が広がり、その国の人と話すためにはその国の歴史を知ること大切なことであると思いました。多くの方の手助けがあり実現したマレーシアへの訪問でした。

私達は、邦楽を通じて豊かな人間性をも身につけるため、これからも、箏の練習に励んで行きたいと思っています。東京庄原格致会の皆様のこれまで以上の声援、支援を期待し報告とします。ありがとうございました。



注目度上昇中の「庄原焼」等について

三五年卒 桑原知樹（庄原市在住）

「庄原焼き」の幟が、市内の「お好み焼店」の店先ではためいています。

「庄原焼き」は、三年前に産学官が連携して商品化した庄原の新しい食の文化です。広島風の「肉玉」がベースのお好み焼ですが、ソバではなく「庄原産米のご飯」が入り、お好みソースではなく、「ポン酢」で仕上げるのが特徴です。

昨今のB級グルメブームの中で新しいタイプのお好み焼きとして注目され、テレビ・ラジオ・新聞等メディアの取材が殺到し、日増しに注目度が高まりました。平成二十三年の「広島てっぱんグランプリ」では、みごと優勝しました。

昨年三月には、尾道・三原・府中・竹原・庄原の五つの鉄板グルメグループが「広島てっぱん同盟」を結成し、地域グルメによる誘客に連携してとりくむ行動を起こしています。

今年の五月には、B-1グランプリの前哨戦「近畿・中国・四国B-1グランプリ in 津山」に、備後府中焼きとともに参加し、入賞こそ逃しましたが、二日間で七万人の人数の中で、「庄原焼き」は大奮闘しました。

J E W E L E R
miwa

東京都中央区銀座6-7-2
TEL. 03-3572-5011
<http://www.miwaj.com>

株式会社 龍 寿司

代表取締役 椎名 喜多子

(旧姓 室伏)

東京都中央卸売市場内・1号館

TEL/FAX 03-3541-9517 営業時間/午前6:30～午後2:00
TEL 03-3547-6894

(予約はお受けしておりません。日曜・休日等市場が休みの日は休業致します。)



瀬尾 VS 信清



藤高 VS 浜田

【囲碁同好会】

同好会だより

二八年卒 近藤 正昭

平成十二年十二月に囲碁同好会は発足しています。以後、平成二十三年度までの長期にわたり小生（近藤）が事務局の業務を担当してきましたが、諸々の事情があり、平成二十四年度以降は八谷英樹氏にバトンタッチしております。長い間、大変お世話になり有難うございました。今後とも宜しくお願い致します。

囲碁同好会の現況ですが、囲碁大好きな仲間組織されており、会員は現在十五人（発足時八人）で有段者十一人・級位者四人の「ツワモノ」どもの集団です。趣味を活かして心身を鍛える頭の体操です。この際、当会に入会されメンバーの皆さんと出会ってみませんか？必ず楽しい一時を過ごせると思います。東京西城会の会報にもPRして入会者を募っておりますから会員も随時増えると期待しています。



次に紹介する「ゆるゆる【安眠体操】」は自律神経のバランスで副交感神経を優位にさせて、体をリラックスさせる効果があります。短い時間で簡単に室内でできます。仕事の休憩時間や家事の合間、入浴後に行うと効果的です。部屋の照明を少し暗くして行うと効果は倍増します。毎日の睡眠は「ぐっすり」で疲労回復ノとなります。

体力が落ちる事で夏ばてや熱中症にも十分気をつけましょう。一番大切なのは猛暑に向けて体力をつけることです。体力が落ちる原因には、「加齢」、「寝不足」、「悪い食事バランス」、「ストレス」、「運動不足」などがあります。このとき無理はせず、必ず休憩を入れてください。

また、運動すると心地よい疲れによって眠りに入りやすくなるので一石二鳥です。趣味の世界とはいえ囲碁は頭の体操です。皆様の心身が逞しくなり、囲碁力向上にゆるゆる体操は期待できます。

ここで【ゆるゆる安眠体操】について少し説明をしておきます。

まず、カラダの隅々へ血液をおくることで、手足の冷えなどが改善されます。そして、囲碁で疲れている体のこわばりや緊張を解放してくれます。手先、足先に血液をおくり、全身の力を抜き、リラックスする。そして、首、肩をゆるゆるにする。具体的には次のA・B・Cについて訓練してみてください。

食彩館しょうばら

ゆめさくら



〒727-0004 広島県庄原市新庄町 291 - 1

TEL 0824-75-4411 FAX 0824-75-84422

URL : <http://www.10.ocn.ne.jp/~yumesaku>

支配人 堀江 光治 (旧姓: 深川) (昭和46年卒)



庄原さくら温泉

かんぽの郷 庄原

〒727-0004 広島県庄原市新庄町281-1

TEL.0824-73-1800 FAX.0824-73-0100

<委託運営会社> 株式会社サンヒルズ庄原

社長 長谷部 泰士 (昭和48年卒)

A

①椅子に座り、両腕を肩の高さまで上げる。両手の手の平を外側にし、右手の指先は天井に向け、左手の指先は下に向ける。右手首は前回りし、左手首は後回しに旋廻させる。(各10回)

B

足の甲を床に向け、つま先あたりを床につける。(約5秒間、左右各10回)

C

①リラックスした状態でゆっくりと両肩を耳に近づけて、息を吐きながら一気に力を抜いて両肩を落とす。(10回)

②右手を左耳の上あたりに置き、右手に力をゆっくりと入れて右側に倒して止め、反対側に戻す。反対側も同様。(左右交互に10回)

まとめ 囲碁力を向上させることが重要ですが同時に体調の維持・強化がこれからの課題です。

【頑張りましょう！】

「ゴルフ同好会」

第47回東京庄原格致会

ゴルフ参加、御礼

三五年卒 吉岡 公義

「ゴルフは三回も楽しめる。すなわちコースに行くまで、プレイ中、プレイ後である。但し内容は期待、絶望、後悔の順に変化する。」アーサー・バルフォア。さて今日はどうか！。時は平成25年3月26日、場所は大厚木カントリー倶楽部本コース(パー73)である。第47回東京庄原格致会ゴルフコンペが開催された。大厚木のメンバー明賀先輩からの案内、「二度メンバー同志やりましょう」と以前から御誘い頂いており、断るわけにはいかない。花曇りで、少し寒いが、まず雨の心配はない。千葉の方から遠路駆けつけてくださった方々もおられ、総勢14人のコンペ。私は今回で4回目の参



スタート前全員で

加、いずれも「参加することに意義あり」で、戦歴は芳しくない。ゴルフは何時どなたと回っても楽しいが、やはり同郷でさらに同窓となると又格別の感がある。そろって記念撮影の後スタートとなった。私は亀井さん(同級生)、助政さん、福場さんとトップスタート。亀井さんは私と同級、飛距離の出る実力者(県人会ゴルフで、ベストグロ獲得)、助政さんはスタートホールからロングパットがさえる、福場さんは女性ながら思い切り良いショットで飛距離が出る、なかなか良いコンピテーターに恵まれたゴルフとなった。私はテーショット、2打目とも力んでトップ気味のショットながら、4打目がピンに絡んで、ワンパットのパー発進となった。前半はファイブボギーの41、6番ホールからの腹痛にもかかわらずまずまず。亀井さん始め、皆さんにご心配をおかけいたしました。午後は腹痛は治まったものの、ロングホールが3ホールともトリプルボギー、5番ホールがボギーで、10オーバーの47、グロス88で上がる。ところが終わって見るとハンデーにめぐまれ、栄えある優勝カップを手にする事ができました。皆さん本当にありがとうございます。後悔はあったものの、絶望しないですみました。

ゴルフはまさに自然との出会い、そして良き人との出会いですが、格致会でのゴルフはその上、郷里の香りを満喫できます。実に楽しく、充実した一日でした。次回は10月4日、場所は大厚木桜コースで開催となりました。幹事は寺川さんと私です。次回天気の良いこと、そしてこの会、格致会がますます発展することを願っております。

広島宝物に出会う場所

広島ブランドショップ「TAU」《たう》

3F イベントスペース

2F 広島伝統・工芸・食のショップ

広島酒工



広島お好み焼き



1F 瀬戸内の恵み・特産品・食材のショップ

B1F 瀬戸内ダイニング

TEL 03-5579-9812



(Ochi Kuchi)



中央区銀座1-6-10

銀座上ビルディング

Tel 03-5579-9952

どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

ガーデン&エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ

株式
会社

八王子装建

代表取締役 西谷 光徳(昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応

八王子市子安町1-32-19

TEL: 0426 (45) 4295 FAX: 0426 (44) 8549

URL: <http://www.h-soken.com/> E-mail: nisitani@h-soken.com

平成 24 年度東京庄原格致会会計報告

(自平成 24 年 7 月 1 日 ～ 至平成 25 年 6 月 30 日)

(単位：円)

一般会計収支報告書

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	183,342	総会費	394,909
年会費	323,000	会報等印刷費・発送費	241,639
総会費	332,000	母校・他校参加費・祝電	103,811
お祝・寄付	103,000	同好会助成費	20,000
広告費	119,580	写真帳	1,350
受取利息	20	ホームページ更新料	32,100
		通信費	17,575
		会議諸経費・消耗品費	33,777
		払い込み印字料	1,100
		次期繰越金	214,681
合 計	1,060,942	合 計	1,060,942

特別会計（基金）収支報告書

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	146,043	会報代 (カラー分)	100,000
基金	3,000		
名簿売上	1,000		
受取利息	25	次期繰越金	50,068
合 計	150,068	合 計	150,068

財産目録 (平成 25 年 6 月 30 日現在)

(一般勘定) 214,681 円

郵便局 振込口座 172,810 円

〃 一般口座 41,871 円

現 金 0 円

(基金勘定)

郵便局 基金口座 50,068 円

合 計 264,749 円

左記のとおり報告致します。

平成 25 年 7 月 16 日

東京庄原格致会

会 長 合田良三

監 事 近藤正昭

監 事 遠藤靖夫

副事務局長 (会計) 花田和敦

東京庄原格致会役員名簿 (二三年一〇月二三日)

顧問	平田 耕司(昭和二〇年卒)	会長	合田 良三(昭和三十三年卒)
坂井 昌彦(昭和二十四年卒)	副々	迫田 芳徳(昭和三十四年卒)	
金森 裕雄(昭和三十五年卒)	幹事長	積山 弘佳(昭和三十五年卒)	
酒井 久幸(昭和三十五年卒)	副々	八谷 英樹(昭和三十五年卒)	
室伏 孝一(昭和三十五年卒)	事務局長	福場美知留(昭和四十五年卒)	
保田 治義(昭和三十六年卒)	寺川 勝海(昭和三十七年卒)		
兼利 卓蔵(昭和三十八年卒)	副々	花田 和教(昭和四〇年卒)	
明賀 馨(昭和四〇年卒)	幹事	塚原 通彦(昭和三十八年卒)	
渡利 治博(昭和四十二年卒)		渡邊 千草(昭和三十八年卒)	
飛谷 安宣(昭和三十三年卒)		山城 建治(昭和三十九年卒)	
森沢 進(昭和三十三年卒)		助政 千尋(昭和四〇年卒)	

監事

迫田 秀明 (昭和四十一年卒)	奥重 秀彦 (昭和四十七年卒)	吉田 玲児 (昭和四十七年卒)	石井美佐子 (昭和四十八年卒)	田原 英樹 (昭和四十八年卒)	武広 巖 (昭和四十八年卒)	矢吹 文伸 (昭和五十八年卒)	近藤 正昭 (昭和五十八年卒)	遠藤 靖夫 (昭和三十七年卒)
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------

編集後記

☆関東でも連日猛暑が続いており、東京の水がめは例年を大きく下回る貯水量で、この夏を乗り切れるか心配です。

☆母校の三宅校長、片山同窓会長の記事にあるように、庄原市では人口の減少が続く中で、母校の維持・発展のため学校はもとより、行政、PTA、同窓会が一体となって懸命な努力をされております。片山会長から「格致PTA便り」第133号をいただき、一読して生徒の皆さんが学習、クラブ活動等を通して前向きで活発な取り組みをされている様子がよく分かり頼もしく感じました。

☆東京庄原格致会においても、会員の高齢化の一方、各位の努力により、比較的若い会員の活躍が芽生えつつあり、今後が楽しみです。

☆「郷土だより」に寄稿いただいた桑原知樹さんの「庄原焼」等についての記事では市内各地で農産物を中心とした特産物の開発・育成に熱心に取り組まれているとのこと。地域活性化につながればと願っております。

会員の皆さん、帰省の折には是非いろいろ味わってみてください。(寺川)

ホームページ活用をお願い

<http://www.t-shobara-kakuchi.com>
ホームページをより充実したものにするため、皆様からの沢山の情報・投稿をお待ちしています。

年会費の納入のお願い!

「年会費」は、東京庄原格致会の会報発行等の運営費を賄うための最も重要な財源です。
御一人二千元をお願いしております。
お送りしております振替用紙で入金いただきますよう、よろしく願ひ致します。

デザイン・印刷・ノベルティで企業イメージをUPさせる
販促品をご提案いたします。



株式会社クレスコアースコミュニケーションズ

〒 101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-2-5 CTN ビル 7F

TEL 03-5207-5189

FAX 03-5207-5089

www.cresco-ars.co.jp

ご寄付をありがとうございました。

この一年間に次の方々からご寄付などをいただき、心よりお礼を申し上げます。

長谷川敏忠様 (二五年卒)	三浦重造様 (二六年卒)
守長俊之様 (二七年卒)	岸水五郎様 (三一年卒)
積山弘佳様 (三五年卒)	八谷英樹様 (三五年卒)
寺川勝海様 (三七年卒)	渡邊千草様 (三八年卒)
井上由夫様 (四一年卒)	守長和子様 (四一年卒)

ご逝去のお知らせ

三〇回総会でお知らせした後、事務局で把握しておりますご逝去された会員の方です。

木下政典様 (二八年卒)

一昨年一〇月ご逝去

謹んでお悔やみを申し上げます。